



検索

文字サイズの変更

標準

大

特大

[サイトマップ](#) | [リンク](#) | [このサイトに対するご意見](#)

知ることからはじめよう

みんなのメンタルヘルス 総合サイト こころの健康や病気、支援やサービスに関するウェブサイトメンタルヘルスへの
とびら

こころの病気を知る

治療や生活への
サポート

国の政策と方向性

専門的な情報

ケースに学ぶ

[ホーム](#) > [専門的な情報](#) > [精神疾患のデータ](#)

専門的な情報

精神疾患のデータ

疾患の詳細

▶ アルコール依存症

▶ うつ病

▶ 強迫性障害

▶ 摂食障害

▶ 双極性障害（躁うつ病）

▶ 統合失調症

▶ 薬物依存症

▶ パニック障害・不安障害

▶ PTSD

▶ 認知症

[マニュアル・ガイドライン<医師・医療従事者向け>](#)
[マニュアル・ガイドライン<保健福祉従事者・自治体関係者向け>](#)
[研究の実施状況と成果](#)

精神疾患のデータ

精神疾患による患者数

[↓ 続きを読む](#)

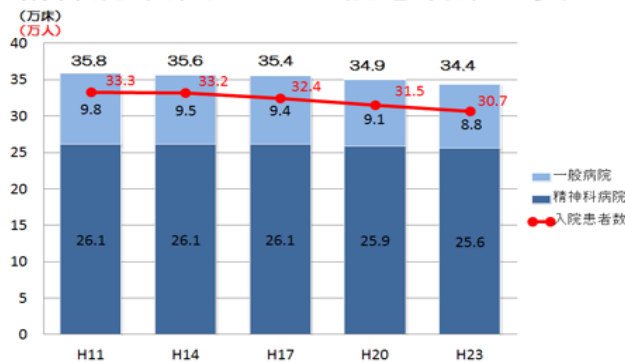
精神科における入院の状況

[↓ 折りたたむ](#)

入院患者数の推移

精神病床数は、近年35万床程度で、やや減少傾向にあるものの、大きな変化はみられません。精神病床の入院患者数は、ゆるやかに減少しており、平成23年には30万7千人となっています。

精神病床数および入院患者数の変化



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

資料：病床数-医療施設調査 入院患者数-病院報告

(注)

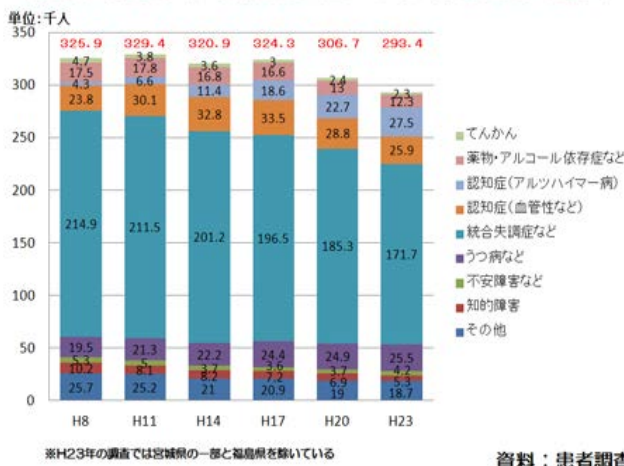
- 精神科病院とは、ここでは、精神病床のみを有する病院を意味します。
- 一般病院とは、ここでは、精神病床のほか、一般病床や療養病床を有する病院を意味します。
- 平成23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いています。

疾患別の入院患者数

精神病床への入院患者数を疾患別にみると、

1. 統合失調症による入院患者数は徐々に減少傾向にあり、平成8年から平成23年の間に約4万人減少して、17.2万人となっています。
2. 認知症（アルツハイマー病または血管性など）による入院患者数は増加傾向にあり、平成8年から平成23年の間に約2万人増加して、5.3万人となっています。

精神病床入院患者の疾病別内訳



(注)

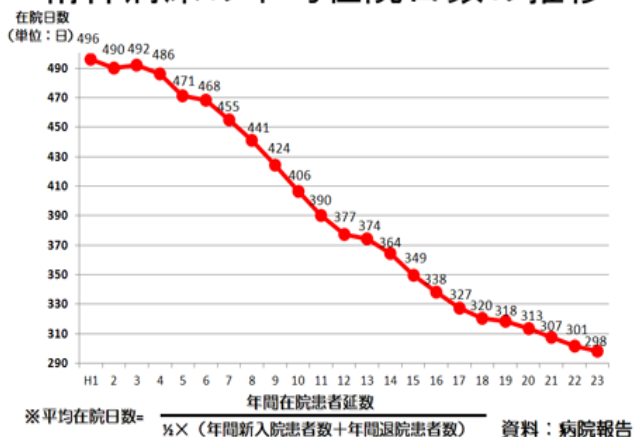
- 図2の入院患者数とは、調査日・調査方法が異なるため、一致しません。
- 平成23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いています。
- 各分類の、ICD-10に基づく正確な分類は以下の通りです。

- 認知症（血管性など）：血管性及び詳細不明の認知症
- 認知症（アルツハイマー病）：アルツハイマー病
- 統合失調症など：統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- うつ病など：気分[感情]障害（双極性障害を含む）
- 不安障害など：神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- 薬物・アルコール依存症など：精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 知的障害：知的障害（精神遅滞）
- その他：そのほかの精神及び行動の障害及び及び不詳

【精神病床の平均在院日数の推移】

精神病床の平均在院日数は短縮傾向にあり、平成元年から平成23年の間に約180日短縮して、298日と300日を初めて切りました。

精神病床の平均在院日数の推移



○ 更に詳しく調べるためには

↓ [続きを読む](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) [メンタルヘルスへのとびら](#) [こころの病気を知る](#) [治療や生活へのサポート](#) [国の政策と方向性](#) [専門的な情報](#) [ケースに学ぶ](#)

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [このサイトに対するご意見](#) [リンク](#) [このサイトについて](#)

Copyright © 2011 Ministry of Health, Labour and Welfare. All Rights Reserved.